

# なかどまり

第21号

平成22年8月発行

# 議会ガイド

## 県下町村議会議員研修会

「今後の政局・政治展望」

政治アナリスト 伊藤 惇夫氏



### 県下町村議会議員研修会

### 「今後の政局・政治展望」

講師 伊藤 惇夫氏

平成22年7月14日(水)



#### 〈主な内容〉

- 第2回定例会 …………… 2
- 一般質問 …………… 4
  - 塚本 悦子議員 …………… 4
  - 奈良 清治議員 …………… 6
  - 川山 光則議員 …………… 7
  - 荒関 富雄議員 …………… 8
  - 青山 雅晴議員 …………… 9
- 委員会だより …………… 10
- 議会の動き …………… 10

# 平成二十二年 第二回定例会

平成二十二年、第二回中泊町議会定例会が、六月二日招集される。



野上 議長

## 第一日目(六月二日)

本会議

議員十九名出席のもとに開会。会議録署名議員に奈良清治議員、秋元啓志議員を指名、会期を七日間と決めた。

次に九議案、報告五件を一括上程し、町長から提案理由の説明後、各常任委員会に付託された陳情及び要望の審査結果について報告後、陳情一件を不採択、要望一件を採択し散会。

## 第二日目(六月三日)

一般質問通告締切  
議案熟考のため休会

## 第三日目(六月四日)

議案熟考のため休会

## 第四日目(六月五日)

議案熟考のため休会

## 第五日目(六月六日)

議案熟考のため休会

## 第六日目(六月七日)

本会議

一般質問に、塚本悦子議員、奈良清治議員、川山光則議員、荒関富雄議員、青山雅晴議員、が登壇。

## 第七日目(六月八日)

上程してある十四議案、報告四件、発議一件について審議した結果、原案どおり可決、同意承認。

また、陳情二件について、産業建設常任委員会に付託して閉会。

## 審議された議案

### 条例

#### ○中泊町職員定数条例の一部改正

行財政改革の一環として、職員の定数を見直しするため条例の一部を改正するもの。

#### ○中泊町国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険法施行令及び地方税法の一部改正に伴い、課税額及び限度額等の変更と税率等を改めるため条例の一部を改正するもの。

#### ○中泊町教職員住宅条例の一部改正

教職員住宅の需要の減少に伴い、一部の住宅を用途廃止するため条例の一部を改正するもの。

### 補正予算

#### ○平成二十二年度中泊町一般会計補正予算第一号

補正額は、歳入歳出とも四千二百二十八万五千円を追加し、

歳入歳出予算の総額を六十六億九千二百二十八万五千円とするもの。

補正する歳出の主なものは、総務費として町有財産境界確定測量及び土地鑑定評価委託料、衛生費として公立金木病院組合負担金、農林水産業費として農地有効利用支援事業補助金及び泉宮薄市地区ふるさと農道緊急整備事業負担金、教育費として体育センター耐震診断委託料など、それぞれ所要額を計上。

歳入については、歳出との関連において県支出金を計上したほか、財源調整に充てるため財政調整基金繰入金を計上。

また、パソコン等更新リース料について債務負担行為を追加設定。

#### ○平成二十二年度中泊町国民健康保険特別会計補正予算第二号

事業勘定の補正額は、歳入歳出とも二百五十二万一千円を追加し、補正後の予算総額を二十四億五千九百九十六万九千円とするもの。

補正する歳出の主なものは、

職員人件費及びシステム改修業務委託料の追加。

歳入については、歳出との関連において一般会計繰入金及び老人保健拠出金の精算分を計上。

診療施設勘定については、歳入歳出とも既定の予算額とし、歳出予算について内部補正をするもの。

補正する歳出の主なものは、職員人件費の追加。また、歳出との関連において医薬材料費及び手数料を減額。

#### ○平成二十二年度中泊町介護保険事業特別会計補正予算第一号

補正額は、歳入歳出とも百五十万円を追加し、補正後の予算総額を十三億九千二百八十六万三千円とするもの。

歳出については職員人件費を、歳入については歳出との関連において一般会計繰入金等を計上。

#### ○平成二十二年度中泊町特別養護老人ホーム静和園事業特別会計補正予算第一号

補正額は、歳入歳出とも六百二十六万七千円を追加し、

二歳入歳出予算の総額を三億四  
百七十一千円とするもの。

補正する歳出の主なもの、  
職員人件費の追加、並びに静  
和園運営調整基金積立金の減  
額。

歳入については、介護職員  
処遇改善交付金等を計上。

○平成二十二年度中泊町水道事  
業特別会計補正予算第一号

収益的支出については、百  
三十七万三千円を追加し、補  
正後の支出予定額を三億八百  
九十二万八千円とするもの。

補正する主なもの、水道  
危機管理対策マニュアル整備  
委託料三百四十九万七千円な  
どを追加し、借換債により企  
業債利息を四百二十二万円減  
額。

資本的支出予定額では、配  
水管布設工事費及び企業債償  
還元金など八百四十六万六千  
円を追加し、補正後の支出予  
定額を一億七千九百一萬三千  
円とするもの。

なお、資本的支出に対する  
不足額は、過年度分損益勘定  
留保資金で補てんするもの。

その他

○青森県市町村総合事務組合を  
組織する地方公共団体数の減  
少及び青森県市町村総合事務  
組合規約の変更について

構成団体である小川原湖広  
域水道企業団が平成二十二  
年三月三十一日をもって解散し  
たことにより、関係地方公共  
団体と協議する必要が生じた  
ため。

報告(専決処分)

○平成二十一年度一般会計補正  
予算第十七号について

地方譲与税等の確定及び地  
方債の変更等により、所要の  
予算補正を要するため専決処  
分したので、これを報告し、  
承認を求めもの。

○中泊町条例の一部改正につ  
いて

地方税法等の一部を改正す  
る法律が公布されたことに伴  
い、条文の整備を要するため  
専決処分をしたので、これを  
報告し、承認を求めもの。

○中泊町過疎地域における固定

資産税の特別措置に関する条  
例の一部改正について

過疎地域自立促進特別措置  
法に基づく省令の一部が改正  
されたことに伴い、条文の整  
備を要するため専決処分した  
ので、これを報告し、承認を  
求めるもの。

○平成二十二年度中泊町国民健  
康保険特別会計補正予算第一  
号について

平成二十一年度中泊町国民  
健康保険特別会計事業勘定及  
び診療施設勘定の歳入歳出決  
算において、歳入が歳出に不  
足したことに伴い、所要の予  
算補正を要するため専決処分  
したので、これを報告し、承  
認を求めもの。

○平成二十一年度中泊町一般會  
計繰越明許費繰越計算書につ  
いて

公共施設遊具整備事業から  
ふれあい運動場整備事業まで  
の合計三十件の事業に係る繰  
越明許費の繰越しについて報  
告。

発議

○核兵器の廃絶と恒久平和を求  
める意見書について

核兵器の廃絶と恒久平和実  
現のため、国関係省庁に意見  
書を提出するもの。

町長提案理由説明



本日、平成二十二年第二回中  
泊町議会定例会を招集いたしま  
したところ、議員の皆様方には  
公私ご多忙中にもかかわらず、  
ご出席をいただき、ここに開會  
できましたことを厚くお礼申し  
上げます。

今定例会に提出いたしました  
議案等は、専決処分した事項の  
報告及び承認を求めの件のほ  
か、中泊町職員定数条例の一部

改正についてなど合計十四件で  
ありますが、その概要を申し上  
げ、ご審議の参考に供したいと  
存じます。

傍聴席は、あなたの席です!!

中泊町議会 平成22年第3回定例会は、9月初旬です。  
会議は公開されており、どなたでも議会の傍聴ができます。  
平成22年第2回定例会の傍聴者は、9名でした。  
皆さんの傍聴をお待ちしております。

一度、町議会へ足を運んで、自分の目でご覧下さい



# 一般質問

※質問議員の発言は、議員間の取り決めにより、800字程度に要約して掲載しています。また、答弁についても要約しています。

## 塚本悦子議員



### 質問 第1 中小企業の町中泊としての情報発信について

企業倒産や雇用問題など、特に県内の中小企業の現状は非常に厳しい。規模よりも技術と戦略、中小企業が日本を救うと言われている。県内にシーズバンク21という企業間連携、協業グループがあり、21社が企業ガイドを作成して宣伝しております。

我が町にもこのメンバーが5社あります。「アップラス、エムス、M-PALE、武田電子、みちのくサウンド」です。この経営者たちは、日夜たゆみない努力を続けている。これら企業に対し精神的支援をしていくことで町全体の活性化につながると思うのですが、当局のお考えをお聞かせください。

### 質問 第2 幼稚園児第2子の無料化について

現政権は「幼保一体化」などを柱とした新たな子育て

て施策の基本方針が公表されたが、まだ法案が成立していない。

町では保育料同時入所2人目無料となり、大変喜ばれている。ところが、幼稚園児は県から所得に応じての支援、町の21年度限りの支援はあるが、幼保一体化の折、保育所と同じ無料化にはいかがか。

### 質問 第3 中泊町合併5年の検証と今後の方向性について

市町村の財政悪化により明治から平成まで3つの合併が行われてきた。その中で、全国的に有名な合併しない町、福島県矢祭町、また、小さな村では高知県馬路村がある。各自自治体には様々な思惑があり大都市では政令指定都市を目指し吸収合併が盛んに行われている。我が町は合併5年目の大きな節目。飛び地合併として住民にとってのメリット、デメリットはどのようなものがあつたのか、今後の展望もあわせてお聞かせください。

#### ●小野町長答弁

中小企業への支援策についてお答えいたします。長引く不況や海外進出等で、本町の製造業を中心とした中小企業数は年々減少傾向にあります。勤務先の減少など、町の経済状況に影響を及ぼしているところでもあります。町の活性化のためには働く場の確保がぜひとも必要でありますが、今も申し上げた事情等が重なり、思うように進んでいないのが実情であります。このようなかで、町内の企業が連携し技術革新や地域産業の活性化にご尽力されておられることに対し、大きな期待を寄せておるものです。4月19日に2名の代表者にお会いし、さまざまなお話を聞かせていただきましたが、彼らの意気込みに感服いたしておるところです。

その中で支援策等についても少しお話がございましたが、彼らの求めるところは、今議員が述べられたとおり町で情報の発信をしていただきたいということ、さまざまな分野の人たちと情報の交換ができるよう支援をしてもらいたいということでありました。私は、町でできることについては極力支援してまいりたいので、ぜひとも頑張っていたいただきたいとお答えしております。広報紙等を活用した企業の紹介等も一つの案かと存じますが、これらをも含めて企業の皆様とともに支援策を協議しながら今後進めてまいりたいと考えております。

次に合併後5年間の検証と今後の方向性についてのご質問にお答えいたします。早いもので、本年3月28日で合併5周年を迎えることができました。最初は4町村の合併協議がございましたが、それが崩壊して2町村での合併を選択して合併が成立いたしました。当時のことを思うと、あの短期間でよくできたものだなつかしく思っております。また、合併後においても当初各方面からご指摘を受けました飛び地合併のハンデいも地域連絡バスの運行や地域インターネット整備などどのように克服し、町の振興計画や新町建設計画に沿った町政の運営を進めることができました。これも議員並びに町民各位のご指導、ご鞭撻の賜であると深く感謝申し上げます。

さて、町村合併のメリット、デメリットは何かとのご質問でございますが、まずはメリットの面ですが、平成の大合併の目的は、国が打ち出した三位一体の改革等により危機的な財政状況を乗り越える手段として市町村合併を進めてきたものですが、交付税の算定特例などの効果で引き続き住民に対する行政サービス水準を維持することができたことが挙げられます。また、

国、そして県の合併市町村補助金、それと合併特例債など財政支援措置の活用により、懸案でありました給食センターの建設など主な事業を実施することができましたが、議員、そして特別職の人員費の削減、業務の統合などに伴う職員数の削減や機構改革など合併を契機とした行財政改革が進んでいること、そしてイベントの一体化などにより地域間の交流が進んでいること、そしてまた図書館、スポーツなどの公共施設の利用範囲が広がっていることなどが挙げられると思いません。デメリットについては、私自身はそんなにないものと思いますが、強いて挙げるとすれば両町村の名前が消えてしまうなど、今まで育ててきた地域の歴史、文化、伝統が失われたことや、そしてまた武田、内潟の出張所の廃止や役場から小泊支所への縮小などにより町民の方々には行政のサービスに多少の不満や不安を抱いている方がいるようではありますが、それらが挙げられると思います。

今後の展望についてですが、このたびの合併で最も大きな恩恵はやはり財政面での優遇でございませう。しかし、地方交付税の算定特例や合併特例債の発行も合併後10年間だけであり、それを過ぎますと地方交付税の算定も元に戻ります。合併特例債の返還も始まりまじ、それまでの間に財政が再び危機的な状況にならないよう業務の効率化、そしてまたコストの削減を進めながら長期的な行財政計画を視野に入れて、新町建設計画の将来像であります。「大地の恵みと海の幸、心ひとつに希望のまち」建設のために努力していかねければならないと思っております。

それと、町の人口も合併当初1万5千人程度でありましたが、本年4月には1万3千5百人に減少しております。今後もこの傾向は続くものと予想され、少子

高齢化は本町に限らず進行しておりますが、働く場の創出など町民にとって魅力あるまちづくりに努め、人口の定住化を図ることも課題だと考えております。今後は地域懇談会や地域審議会の開催など住民の意見を反映させるとともに情報の提供を進めて、合併してよかつたと思う町を引き続きつくってまいりたいと考えております。そのほかのご質問につきましては、係の者より答弁させていただきます。

### ●熊木総務学務課長答弁

幼稚園第2子無料化についての質問にお答えいたします。幼稚園の保育料につきましては、国では保護者の経済的負担の軽減を図るため世帯の課税状況に応じた保育料の減免に対する補助金である幼稚園奨励費補助金を交付しております。入所中の1番目の園児及び2番目の園児以降に関係なくすべての園児を対象にしております。町では、保護者をさらに支援することから、平成21年度より入所中の2番目の園児以降の保育料に対し補助金を交付しております。その内容は、同じ幼稚園に2人以上入っている場合で、送迎費を除く保育料から国が交付する奨励費補助金を差し引いた保護者負担分を対象としているものです。平成21年度の実績では、2番目の園児6人が対象となり、保育料が無料となっております。

国の補助金は、当該年度の1月ごろに確定し、その後には町の補助金を確定することから、国及び町の補助金交付の時期は2月下旬から3月下旬ごろとなっております。22年度では教育費に69万2千円の前算を計上しております。昨年度に引き続き補助金を交付することとなっております。なお、今後の制度の継続につきましても、国も子育ての制度について充実を図ってい

るところでありますので、今後の社会情勢を見ながら判断していきたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

### 塚本悦子議員再質問

これからの中小企業の町中泊として町内外に大々的にPRしていくことで事業者の安定と雇用促進、町活性化には非常に重要です。幼稚園児に22年度も支援があることは、保護者たちは知らないわけですから、「幼保一体化」の一環として保育所と同じように無料化を前向きに考えて頂きたい。合併して5年程度が検証する時期の最適である。これらを参考として次年度以降の計画を出しそれを実行し住民に満足できるまちづくりをしていただきたいと思っております。

### ●熊木総務学務課長答弁

入園とか入所前から無料になりますよということがPRできるのか、また国からの奨励費もありますけれども、これをさつき申し上げたように年度末近くに交付していますので、それを早めることができるかなどを検討させていただきたいと思っております。

### ●小野町長答弁

まず、中小企業のございですが、まずは広報紙をもって企業の紹介、ここの企業はこのように頑張つてやっておりますと、その辺から始めてみたいと思っております。それと、最後の飛び地合併のことについては、私どももさらに、町民の声を聞きながらまちづくりに励みたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。



## 奈良清治議員



### 質問 第1 尾別新設道路について

尾別に新設される新しい道路関係で今までいろいろな問題がありました。指名競争入札資格のない者が落札した建物の件、新設道路コースが議会に説明なくコース変更、また、道路コースの一部が買収でなく約五〜六年間の借地契約していたこと。もし抵当権ついているならば道路新設必要部分地だけでも、抵当権を解消削除し、買収の上道路完成すべきではないか。行政の取り組みや一貫性のない町長の考え、何か腑に落ちないことがあります。今後の工程・完成はいつかお尋ねするものです。

### 質問 第2 子ども手当の支給について

わが町も今月10日頃より子ども手当の支給と聞いていますが、各新聞等にもあるように各市町村では滞納対策の活用とありますが、当町中泊もこの対策を考えていることでしょうか、滞納金納付を強制的でなく未納者の意見をも聞き、当町も保育料、給食費が未納で困っていることを説明し良き解決すべきと思いい町の考えをお聞きするものです。

### 質問 第3 中高生の交通と地域連絡バス運行コースについて

中高生の生徒減少対策は交通面での不便さが一番と

のことで当町も重点事項として生徒の通学面での計画に取り組んでいることで今後は良き結果が出てくることと思っております。また、これに類似した地域連絡バスのことですが、現在の運行コース中里地区のベルよりのバイパスでなく旧道深郷田、八幡と大沢内を通ることとはできないのかとの多くの人の苦情があります。町もいろいろ考えてのことでしょうか、今一度のコースを考えてみてはどうか、提言するものです。

### ●小野町長答弁

尾別川右岸の道路工事に係る土地の借地契約のご質問にお答えしたいと思います。現在工事を進めております町道119号線道路改良工事については、本年2月3日に開催いたしました総務企画、産業建設常任委員合同協議会や5月25日開催の総務企画、6月1日開催の産業建設常任委員協議会でその都度状況をご説明しご協議をいただいていたところでありましたが、工事に必要な用地のうち水田部分の用地は地権者のご協力をいただきまして平成21年度で取得を終えてございます。ただ、起点部分の高根製材所の土地は取得しており、土地所有者との間で土地使用貸借の契約を結んでおります。期間は平成21年10月27日から平成26年10月26日までの5年間で、無償で借りております。

この土地使用貸借の契約を結んだ理由は、この土地と隣接者との境界の確認を行ったところ、国土調査の図面修正が必要なことと、国道339号との交差点協議に時間を要しているためです。国土調査の図面修正は、今現在税務課で作業を進めているところであり、修正が終了し、交差点協議が整えばこの土地についても取得面積を決定の上取得する予定であります。

なお、土地貸借使用期間は契約上5年となっております。

ますが、関係するいろんな機関との協議を重ねましてできるだけ早く取得するように努めてまいりますので、何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

### ●川島福祉課長答弁

子ども手当の支給についての滞納対策活用の質問にお答えしたいと思います。子ども手当は、次代の社会を担う子供を健やかに育て、社会全体で応援するという趣旨のもとに支給されるものでございます。子ども手当の支払いの方法については、現金支払いあるいは口座振込み等がございます。当町の場合は、口座振込みを基本として6月10日に支払いいたします。対象世帯は770世帯、対象人員は1,207人、今回の支払金額は4,287万8千円となっております。子ども手当の実施に伴って3,140万8千円増の支払いとなっております。

子ども手当を保育料の滞納対策に活用することは、法の趣旨に触れるというご指導がなされております。しかし、保育料の徴収対策も非常に重要でございます。そこで町としては、滞納している保護者への子ども手当の支払いについては会計課現金支払いといたしまして、保育料納付相談を開催しております。そして、保護者のご理解のもとに保育料を納入していただいております。極力滞納者の全額を徴収したいわけですが、子ども手当の額、保育料の額等の差額もございまして、そしてまた、家庭の事情等で子ども手当受給する人と保育料の納入の方が違う世帯もございまして、いずれにしても、極力滞納分を徴収したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

### ●秋元総務課長答弁

中里高校入学希望者へのバス交通の件についてお答えいたします。平成20年3月、つがる市から中里高校に連絡する中里高校線、21年3月には田茂木長泥線の民間事業者の路線バス撤退に伴い、町が独自に武田・中高路線バスを運行しているものでありますが、このバスを運行するに当たっては武田地区住民の移動の足を確保することを最優先に、運行時刻を中里高校の始業時刻に合わせて運行するなどして武田地区から中里高校への入学者増を図ることを目的に運行してまいりました。昨年の実績ではありますが、何名かはそのバスを使って武田地区から中里高校に行っていると。また逆に、その路線を使って武田地区から大沢内の駅を使って五所川原方面に行っているという生徒がございましたので、今後もそういう使い方をしていただければ中里高校に対する期待も高まってくるのではないかと考えております。

地域連絡バスの路線変更については、私どものほうにはそういう声は聞こえておりません。当初は、回転場所等のことあるいはパルナスの利用等を考えまして、終点をパルナスまでにしたものであります。その後、武田地区のほうからぜひ路線を延長してほしいという要望がございまして、それをそのまま延長しております。町民の皆さまのご意見と、地域懇談会等もやっておりますので、そのとき必要というご意見等が多ければそちらのほうも検討していきたいと。これにはさまざま交通会議、あるいは陸運局等の許可等も必要でありますので、それらの点も検討しながら、必要にこたえていくということにはいいのですが、逆に今度はパルナスの利用者の場合、パルナスで回転させてまた戻るといような路線の見直しも必要となってきましたので、今後検討させていく課題とさせていただきます。

いと思います。

## 川山光則 議員



### 質問 第1 町の職員募集について

このことについて、去る5月の広報なかどまりに上級行政職の募集がありました。一部の町民の間から町村合併してようやく町役場の財政もよくなってきたというように、職員も退職者がかなりあって適正な人数まで近づいたのではないかと思っていたのが、昨年4人採用して、今度また4〜5人採用することと、また町の財政が悪くなるのではないかと心配されています。また、私としても職員をふやして草刈り等をやらせるよりは少な目な職員数でよりよい仕事ができなにかと思えますが、町長の考えを伺います。

### ● 小野町長答弁

来年度の職員採用のため本年の5月17日から6月10日までの期間で大卒程度の学力を有する者、おおむね3名を募集しているところでございます。職員の採用については、新町建設計画において平成17年度から平成20年度までの4年間は退職不補充として、平成21年度以降適正人員に向けた新規採用をすと定められていることから、この間は職員の採用をいたしておりませんでした。平成21年の4月に計画時の見込みを上回る退職者が出たことから、合併後初めて4名を採用い

たしております。退職者については、平成17年の3月31日から平成22年の3月31日までで71名が退職しております。来年3月でさらに9名が退職予定となっております。この結果、合併時に266名あった職員が、本年の4月1日現在では195名に減少いたしております。

町の財政状況がよくなってきたときに職員を採用するのは、今後の財政の運営に影響を及ぼすのではないかとのご質問でございます。このたび職員採用を実施いたしましたのは、これまで年平均10名を超える退職者の補充が一番の理由であります。町が策定した行財政改革の中で、職員の適正規模を維持するため、21年度以降3人から4人を計画的に補充していくことを掲げております。ご説明申し上げておりますように、来年度で9名が退職見込みのため、このたび3名程度を募集することといたしましたものであります。

次に、将来に向けた職員の確保でございますが、合併以前から両町村とも採用を最小限に抑えて、合併後も4年間職員を補充していないため、若手職員が極端に減少しております。現在も部下もない課長補佐や係長が生じるなど、いびつな組織機構となっております。このまま推移していきますと、将来的に適正な組織の維持が困難になることが予想されます。このためには計画的な職員の採用が必要であると判断したものであります。ただ、職員採用は人件費の増加に直結するものであり、議員及び町民の皆様がご心配されるのも当然のことかと存じます。このことから、採用に当たっては町の行財政計画等を十分に考慮しながら必要最小限にとどめるよう進めてまいりる所存でありますので、ご理解願いたいと思っております。



## 川山光則議員

質問というよりも提言になるのですが、当町、特に小泊地区は人口の減少が甚だしく、新採用した職員は地元から離れて暮らさないよう何らかの対策をとるべきだと、私は思います。また、テレビで一回見たと思うのですが、例えば5人採用するとしてそのうち2人ぐらいはある程度年配の人で、奥さんと子供が2人以上いる人を募集して地元で暮らしてもらえば町の定住促進になると思います。私の提言としたいと思います。

## 荒関富雄議員



### 質問 第1 町道192号線の道路改良工事について

起点から終点までの用地はちゃんと確保して工事に入ったのか。また、計画変更はあるのか。というのは、国道との交差点に問題点があるというのであれば、事務方が平成21年10月27日に契約を終えているわけでありますので、その間どういう動きをしたのか。3月議会の流れの中では町長は、奈良議員の質問に対してであります。22年度中にはこの道路は完成させると、そういう答弁しております。どうして事前にわかっていることが今まで事が延びたのか、対策を講じてあつたのかどうかをお聞きして質問を終わります。

## 小野町長答弁

町道192号線改良工事のことにお答えいたしますが、先ほど奈良議員にお答えしたとおりです。私もその交渉に入ろうとしたら、後ろの境界の部分が食い込んでおつたと。1mから1m50の水路でございませぬが、その境界線がはっきりしないと分筆できません。これがひっかかりました。さらにはまた我々は簡単に339号線に道路が出られるものと思っておりましたら、土木のほうでやはり事故等、またあそこには橋がございませぬ。特殊でございませぬので、少し検討させていただきます。特でございませぬので、少し検討させていただきます。この部分につきましては、我々も買収する面積が小さければ小さいほどよいのです。ところが、県は交通事故とかそういうものが発生すれば大変だということで大きく取ろうとします。私どもも最小限で面積確保をしたいと、その2つが決まりますと、すぐいろんな関係の方々との手続に入りたいと思っておりますので、ご了解を願いたいと思います。

## 荒関富雄議員再質問

事務方のほうにお聞きするのでありますが、今町長が答弁した流れの中でいくと、大体いつごろこの交渉事を終わる予定にしてあるのか。

## 横山環境整備課長答弁

最初に、道路協議については特殊な事情です。というのは、山手のほうから下つてきて、中里の本庁のほうへ左折するわけです。その際に、尾別川の橋がありますので、用地的には堤防と平行して用地をお願いして曲がれば一番いいのですけれども、特に大型車を想

定していますので、対向車線にはみ出すということになれば、それ分交通事故等の起こる比率も高くなるし、公安のほうもいいとは言わないと。したがって、もつと北のほうへ道路を曲げてくださいと。その際も国道339号とほぼ直角にぶつかつて右折も、左折もスムーズにいくようにしてくださいと。そうした場合に堤防と道路との間に土地が残ることになります。土地所有者にしてみれば結局使いようの悪い変な土地が残るといふことになりますので、地権者にとつてもなかなかいい返事はもらえないわけです。もう一つ、県の道路課との協議は頻繁にやっていますけれども、余り北のほうへ振れと言うものから、どこまで振ればいいのだと。法線を示していくと今度は事務所がかかると。そういうことは我々事務方としては最初から多少振らなければならないという認識はあつたにしてもそこまでは考えていなかったことから、その辺も町長に報告してありますけれども、そういう特殊事情があつて道路協議が延び延びになっているのが実情です。工事につきましては21年度予算の繰越をして今路盤の工事を進めております。これは6月30日までの予定で今の工事は一通り終えます。その後、22年度の予算で残りの路盤の工事と一応秋口の舗装までやつて完成させたいと。したがって、道路協議についてはそういう事情があつて、これを関係機関とできるだけ早く協議をして、双方合意に達すればその部分の抵当権を抹消していただいて所有権移転をやりたいと考えています。私の気持ちとしてはできれば22年度中には何とかめどをつけたらと思っております。

## 今事務課長答弁

国土調査の図面修正については、相手もあることで



すので今月中には協議を終わりたいと、こう考えております。

### 荒関富雄議員

道路の計画をするときに、これからもいろいろあるとは思いますが、やっぱり事前によく調査してからコースの設定をしていかないと、我々もそうなのですが、素人考えで安易な、簡単な気持ちでコースの設定などをしますとこのような非常に思わしくないような結果になりますので、今後いろいろ道路の改修なども当然相手方があるわけでございますので、よく調査しながら着手してもらいたいと思います。

### 青山雅晴議員



#### 質問 第1 交通安全対策について

日ごろ交通安全に対する町の取り組みやその関係する人々に対して感謝を申し上げます。

去る3月6日、「子供とお年寄りを交通事故から守ろう」をスローガンに、青森県警察の音楽隊が我が中泊町のパルナスにやってきました。そのとき、入場者に先着順で反射シールを無償で差し上げたそうです。運転する皆様方も、夜の歩行者が見えなくてどきっとした経験はあると思います。特に雨降りには視界が悪く、要注意が必要です。歩行者の方が反射シールをつけることによって安全が守られると私は認識しており

ます。東京の成城警察署では交通安全母の会やその関係する方々がボランティアで活動なされていると、テレビで報道されていきました。内容は違いますが、昨年10月30日、我が町で米軍関係者が運転する普通乗用車が橋の欄干に衝突、炎上し焼死するという不名誉な記録が残っております。私も現場を見ましたが、欄干には反射板があり、原因は酒による運転とスピードの出し過ぎだと思われました。

平成21年の交通事故のまとめを見ますと、青森県では65歳以上の高齢者による死傷者数は減っているが、交通事故は年々全国的にふえて、約半分を高齢者が占めていると言われております。どうか町民の方も交通事故に対する意識を高め、交通事故を起こさない、また交通事故に遭わないよう努めていただきたいと思えます。町当局の取り組みについてお尋ねします。

#### ●小野町長答弁

青山議員の子供と高齢者の事故についてのご質問にお答えいたします。子供と高齢者の交通事故防止については、交通安全県民運動の重点目標に毎回掲げられる大きなテーマでございます。我が町におきましても最重点課題としてとらえており、子供に関しては登校時の交通整理員の配置、恒例となっております春と秋の運動期間中の街頭監視の実施、小学校新入学生に対する黄色い安全帽子の配付などを実施しております。

また、高齢者につきましては、宝寿大学のカリキュラムに年に2回、交通安全関連事項を盛り込んでおり、今年5月28日に駐在所の協力のもと、交通安全教室を実施しております。秋には交通安全母の会による交通安全の寸劇を予定するなど、交通事故防止及び交通ルールの厳守に努めているほか、防災無線による運動

期間中の広報活動なども実施しています。

なお、五所川原警察署管内の平成21年中の交通事故の状況を申し上げますと、発生件数は314件で、死者が2名、うち高齢者が1名と。そしてまた、負傷者は382名のうち子供が30名、高齢者が70名となっております。このうち中泊町の発生件数は31件でございます。死者が1名、そして負傷者が40名であります。また、4月30日現在の五所川原管内の発生件数は104件で、そのうち死者が3名のうち高齢者が2名と、そして負傷者が125名のうち子供が3名、高齢者21名ですが、中泊町の発生件数は12件でございます。死者はゼロで、負傷者は14名。子供、高齢者はいませんでした。

議員ご指摘のように、特に最近では高齢者や子供の事故がふえていることから、警察や交通安全協会、母の会など関係機関とも連携を密にしながら安全対策をさらに講じてまいりますので、どうか協力のほどよろしくお願いたします。

### 青山雅晴議員

私も警察の音楽隊を見てきまして、非常に町民の方々からアンコールがออกมาして、こういう安全活動、もちろん春と秋の交通安全運動はありますけれども、町でこういう音楽隊を呼んでいいことだなと、また警察の説明で、今100円ショップでそういう反射シールとか売っているから、ぜひ夜間はつけてもらいたいということをおっしゃったので、町でも高齢者に対して、また夜間よく仕事で歩く人とか、新聞配達とかいろいろあるわけでございます。そういう方々に反射シールとかそういうのをプレゼントしてあげられないものか、要望して終わります。

**民生文教常任委員会 (秋元啓志 委員長) 5月25日(火)**

〈案 件〉

- ・最低賃金法の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化を求める陳情書
- ・核兵器の廃絶と恒久平和実現に関する意見書の決議について
- ・その他



**議会運営委員会 (米塚慎一 委員長) 5月25日(火)**

〈案 件〉

- ・平成22年第2回中泊町議会定例会会期日程について
- ・提出議案について
- ・陳情書の審査結果について
- ・新規に受理した陳情等の取り扱いについて
- ・その他

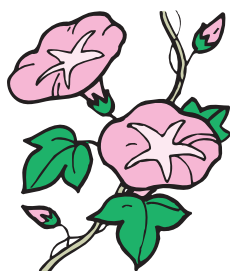


6 月

5 月

4月

30日	24日	23日	12日	11日	10日	9日	8日	7日	2日	1日		25日	24日	21日	20日	19日	18日	13日	23日	21日	20日	
平成22年第3回臨時会	例月出納検査	例月出納検査	議員視察研修	議員視察研修	議員視察研修	議員視察研修	単行案審議、閉会	定例会一般質問	議員全員協議会	産業建設常任委員協議会 平成22年第2回定例会開会		議会運営委員会	総務企画常任委員協議会 民生文教常任委員協議会	青森県新幹線建設促進期成会総会	例月出納検査	例月出納検査	町村議会議員研修会	町村議会議員研修会	高度救急救命センター落成式	西北郡議長会総会	例月出納検査	例月出納検査



**平成22年 第3回臨時会**

6月30日(水)、上程された議案1件を原案のとおり承認、可決し閉会。

- 工事請負契約の締結について